



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6794 URL <http://www.foster.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田 幸雄
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長 (氏名) 山本 有三 (TEL) 042-546-2305
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第2四半期 | 58,637 | 12.6 | 1,343 | 169.1 | 1,575 | 158.4 | 500 | — |
| 24年3月期第2四半期 | 52,070 | 10.9 | 499 | △87.7 | 609 | △84.7 | △163 | — |

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △678百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △1,469百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第2四半期 | 21.45 | — |
| 24年3月期第2四半期 | △6.99 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 25年3月期第2四半期 | 86,417 | 34,107 | 37.1 | 1,375.46 |
| 24年3月期 | 70,050 | 34,973 | 47.2 | 1,416.81 |

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 32,088百万円 24年3月期 33,052百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 15.00 | — | 10.00 | 25.00 |
| 25年3月期 | — | 10.00 | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | — | — | 15.00 | 25.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 139,000 | 16.2 | 6,300 | 246.8 | 6,300 | 205.9 | 4,300 | 282.9 | 184.32 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年3月期2Q | 23,506,015株 | 24年3月期 | 23,506,015株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期2Q | 176,982株 | 24年3月期 | 176,982株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年3月期2Q | 23,329,033株 | 24年3月期2Q | 23,329,033株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

| | | |
|----|------------------------------|----|
| 1. | 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| | (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| | (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| | (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. | サマリー情報(その他)に関する事項 | 3 |
| | (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| | (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| | (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. | 四半期連結財務諸表 | 4 |
| | (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| | (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| | (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| | (4) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| | (5) セグメント情報等 | 10 |
| | (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）における世界経済は、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。欧州債務問題は長期化の様相を呈し、中国をはじめとする新興国経済は減速感が強まりました。わが国経済は、復興需要等を背景に緩やかながらも持ち直ししておりましたが、ここにきて海外景気の鈍化等により回復の動きに足踏みが見られ始め、加えて中国での反日動向の景気への波及が大きな不安材料となりました。

当社グループの属する電子機器・電子部品業界におきましては、引き続きスマートフォンや車載関連機器向け需要は堅調でありましたが、薄型テレビ等の民生用は低調に推移いたしました。

こうした中、当社グループでは、カンントリーリスクの低減やコスト競争力アップを図る上で、アセアン地域での製造体制を強化いたしました。6月にはベトナム・メコン工場での生産を開始しベトナムでのヘッドホン・ヘッドセットの生産体制を強化いたしました。7月にはミャンマー・フォスターエレクトリック Co., Ltd を設立し、現在稼働準備中です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、主要顧客向け新機種の立ち上げの遅れもありましたが、58,637百万円（前年同期比12.6%増）となりました。利益面につきましても、新機種立ち上げに伴う先行投資が増加したものの、連結営業利益は、1,343百万円（前年同期比169.1%増）、連結経常利益は、1,575百万円（前年同期比158.4%増）、連結四半期純利益は500百万円（前年同期は△163百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[音響部品・製品事業]

薄型テレビ用スピーカ・スピーカシステムの需要は引き続き低迷いたしました。アフターマーケット向けオーディオ用ヘッドホンが大幅に伸びました。

その結果、当事業年度の売上高は14,421百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

[自動車用部品・製品事業]

自動車生産及び販売台数は、引き続き北米地域が堅調に推移したことに加え、国内におきましても、東日本大震災の影響を脱し、エコカー補助金制度による追い風を背景に回復し、車載用スピーカ・スピーカシステム等の生産は好調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は17,750百万円（前年同期比30.4%増）となりました。

[情報、通信機器用部品・製品事業]

携帯電話用ヘッドセット等の生産、出荷は、一部の製品に下期へのずれ込みが見られたものの、概ね好調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は25,494百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

[その他事業]

「フォステクス」ブランドの製品等の売上高は969百万円（前年同期比24.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は主にたな卸資産の増加により前連結会計年度末に比べ16,367百万円増加して86,417百万円となりました。負債は主に借入金の増加により前連結会計年度末に比べ17,233百万円増加して52,310百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定（借方残高）の増加等により前連結会計年度末に比べ866百万円減少して34,107百万円となりました。また自己資本比率は前連結会計年度末比10.1ポイント減の37.1%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより5,517百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の支出は、たな卸資産の増加等により4,028百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、設備投資等により7,031百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、短期借入金の増加等により10,994百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 7 月 27 日公表の予想数値を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成 24 年 11 月 2 日）別途開示しております「平成 25 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお業績予想の前提となる為替レートは 1 U S ドル 75 円、1 ユーロ 95 円であります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積もりの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,173 | 6,296 |
| 受取手形及び売掛金 | 21,186 | 21,406 |
| 製品 | 9,206 | 12,339 |
| 原材料 | 5,891 | 11,082 |
| 仕掛品 | 993 | 4,211 |
| 貯蔵品 | 425 | 481 |
| 短期貸付金 | 68 | 43 |
| 未収入金 | 1,164 | 1,344 |
| 未収還付法人税等 | 925 | — |
| 立替金 | — | 1,867 |
| 前渡金 | 765 | 351 |
| 繰延税金資産 | 560 | 638 |
| その他 | 954 | 1,260 |
| 貸倒引当金 | △681 | △653 |
| 流動資産合計 | 47,633 | 60,671 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 4,637 | 4,316 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 7,205 | 9,449 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 1,926 | 2,607 |
| 土地 | 922 | 898 |
| 建設仮勘定 | 2,769 | 3,962 |
| 有形固定資産合計 | 17,461 | 21,234 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 203 | 154 |
| ソフトウェア | 347 | 267 |
| 借地権 | 668 | 628 |
| その他 | 107 | 107 |
| 無形固定資産合計 | 1,327 | 1,157 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,990 | 1,654 |
| 長期貸付金 | 48 | 39 |
| 長期前払費用 | 1,167 | 1,326 |
| 繰延税金資産 | 105 | 93 |
| その他 | 326 | 250 |
| 貸倒引当金 | △9 | △9 |
| 投資その他の資産合計 | 3,628 | 3,354 |
| 固定資産合計 | 22,416 | 25,746 |
| 資産合計 | 70,050 | 86,417 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 10,347 | 15,224 |
| 短期借入金 | 16,461 | 24,705 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 285 | 582 |
| 未払金 | 2,987 | 3,821 |
| 未払法人税等 | 182 | 266 |
| 未払費用 | 1,312 | 1,396 |
| 繰延税金負債 | 0 | 551 |
| 賞与引当金 | 533 | 830 |
| その他 | 462 | 386 |
| 流動負債合計 | 32,573 | 47,764 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,675 | 3,752 |
| 繰延税金負債 | 386 | 278 |
| 退職給付引当金 | 256 | 328 |
| 役員退職慰労引当金 | 63 | 61 |
| その他 | 120 | 124 |
| 固定負債合計 | 2,503 | 4,545 |
| 負債合計 | 35,076 | 52,310 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,770 | 3,770 |
| 資本剰余金 | 6,372 | 6,372 |
| 利益剰余金 | 31,044 | 31,311 |
| 自己株式 | △133 | △133 |
| 株主資本合計 | 41,054 | 41,321 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 120 | △102 |
| 為替換算調整勘定 | △8,122 | △9,130 |
| その他の包括利益累計額合計 | △8,001 | △9,233 |
| 少数株主持分 | 1,920 | 2,018 |
| 純資産合計 | 34,973 | 34,107 |
| 負債純資産合計 | 70,050 | 86,417 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 52,070 | 58,637 |
| 売上原価 | 46,532 | 50,972 |
| 売上総利益 | 5,538 | 7,665 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,039 | 6,321 |
| 営業利益 | 499 | 1,343 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 32 | 47 |
| 受取配当金 | 17 | 15 |
| 為替差益 | 20 | 173 |
| 雑収入 | 162 | 208 |
| 営業外収益合計 | 234 | 445 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 91 | 113 |
| 雑損失 | 32 | 100 |
| 営業外費用合計 | 123 | 213 |
| 経常利益 | 609 | 1,575 |
| 特別利益 | | |
| 国庫補助金 | 60 | — |
| 特別利益合計 | 60 | — |
| 特別損失 | | |
| 有形固定資産除却損 | 27 | — |
| 投資有価証券評価損 | 124 | — |
| ゴルフ会員権評価損 | 8 | — |
| 特別損失合計 | 161 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 509 | 1,575 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 411 | 429 |
| 法人税等調整額 | 133 | 517 |
| 法人税等合計 | 545 | 946 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△) | △35 | 629 |
| 少数株主利益 | 127 | 128 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △163 | 500 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△) | △35 | 629 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △91 | △223 |
| 為替換算調整勘定 | △1,342 | △1,084 |
| その他の包括利益合計 | △1,434 | △1,307 |
| 四半期包括利益 | △1,469 | △678 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △1,620 | △731 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 150 | 52 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 509 | 1,575 |
| 減価償却費 | 1,507 | 1,874 |
| のれん償却額 | 48 | 48 |
| 前払年金費用の増減額 (△は増加) | △32 | △31 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 55 | 72 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 1 | 1 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △164 | △33 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 74 | 304 |
| 有形固定資産除却損 | 27 | — |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 124 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △50 | △63 |
| 支払利息 | 91 | 113 |
| 為替差損益 (△は益) | △507 | △286 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 212 | △504 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △2,876 | △12,271 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 3,044 | 5,402 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | △239 | △212 |
| 立替金の増減額 (△は増加) | — | △1,867 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △288 | 932 |
| 前渡金の増減額 (△は増加) | △654 | 440 |
| その他 | △120 | 9 |
| 小計 | 762 | △4,495 |
| 利息及び配当金の受取額 | 50 | 63 |
| 利息の支払額 | △91 | △113 |
| 法人税等の支払額 | △2,486 | △408 |
| 法人税等の還付額 | — | 925 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,765 | △4,028 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △0 | △0 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,315 | △6,409 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 111 | 12 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △181 | △39 |
| 定期預金の増減額 (△は増加) | 126 | △202 |
| 短期貸付金の増減額 (△は増加) | 24 | △13 |
| 長期貸付けによる支出 | △10 | △6 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 9 | 5 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △313 | △432 |
| その他 | △40 | 54 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,590 | △7,031 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 4,118 | 8,872 |
| 長期借入れによる収入 | 239 | 2,549 |
| 長期借入金の返済による支出 | △107 | △129 |
| 配当金の支払額 | △653 | △233 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △122 | △64 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,473 | 10,994 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 96 | △20 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △785 | △85 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,607 | 5,603 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 6,822 | 5,517 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|---------------|-----------------|---------------------|-------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 音響 部品・製品事業 | 自動車用 部品・製品事業 | 情報、通信機器用 部品・製品事業 | その他事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する 売上高 | 13,795 | 13,607 | 23,890 | 777 | 52,070 | - | 52,070 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 13,795 | 13,607 | 23,890 | 777 | 52,070 | - | 52,070 |
| セグメント利益又は損失(△) | △299 | △214 | 950 | 110 | 547 | △48 | 499 |

(注) 1 セグメントの調整額△48百万円は、のれん償却額であります。
2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|---------------|-----------------|---------------------|-------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 音響 部品・製品事業 | 自動車用 部品・製品事業 | 情報、通信機器用 部品・製品事業 | その他事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する 売上高 | 14,421 | 17,750 | 25,494 | 969 | 58,637 | - | 58,637 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 14,421 | 17,750 | 25,494 | 969 | 58,637 | - | 58,637 |
| セグメント利益又は損失(△) | 954 | 885 | △568 | 121 | 1,392 | △48 | 1,343 |

(注) 1 セグメントの調整額△48百万円は、のれん償却額であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

・各セグメントに属する主要製品・サービス

| セグメント | 主要製品・サービス |
|-----------------|--|
| 音響部品・製品事業 | オーディオ用及びテレビ用スピーカ並びにスピーカシステム、アンプ内蔵スピーカ、ヘッドホン等 |
| 自動車用部品・製品事業 | 車載用スピーカ及びスピーカシステム等 |
| 情報、通信機器用部品・製品事業 | 携帯電話用ヘッドセット及び小型スピーカ、業務用マイクロホン等 |
| その他事業 | 「フォステクス」ブランドの製品、物流サービス等 |

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
該当事項はありません。